

インターネットを活用した調べ方学習について

< 概要 >

高校の地理歴史・公民科では、生徒の主体的な学習を今後一層重視する方向にあり、具体的には問題解決学習や学び方・調べ方の学習の充実が求められている。この報告は、地歴・公民に関する事象の調査報告書を作成する過程を通して、調べ方学習の一つの方途を紹介するものである。インターネットを使って収集した情報をコンピュータを利用して加工・処理し、ワードプロセッサ（ワープロソフト）で新聞形式の作品に仕上げる技能を学習するとともに、得られた情報を正しく利用する態度を養えるようにした。

キーワード 地理歴史・公民科 インターネット 調べ方学習

1 課題の設定

調べ学習を行うためには、まず課題の設定をする必要がある。教師から課題を与えられる場合を除き、自分で課題を設定することは、日頃から問題意識をもってないと難しい。今回は、1999年12月31日にパナマ運河が85年ぶりにアメリカ合衆国からパナマに返還されたニュースを取り上げて、地理的、歴史的に調査してみる。

2 調査・発表の方法

調べ方学習は、小・中学校で体験しているので、ある程度の手順は理解しているはずである。ここでは、インターネットで情報を収集し、コンピュータで加工・処理し、ワープロソフトを使用してA4判1枚の新聞形式で報告書を制作する。

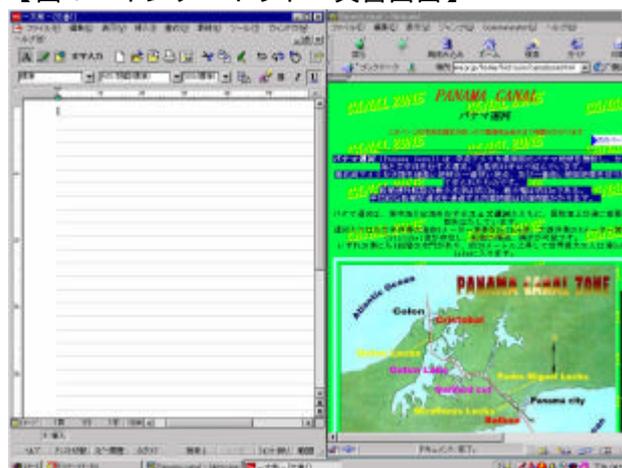
3 インターネットでの情報収集

インターネットから利用したい情報を収集するためには、URLを指定して、ホームページにアクセスする必要がある。しかし、実際はこうしたURLをすべて記憶しておくことは不可能なので、通常は検索エンジンを利用して、知りたい情報の検索を行う。検索エンジンの種類は複数あるので適当なものを選択して利用する。

以下、次の手順で情報を収集する。

調べたい事項「パナマ運河」を検索する。検索結果の中から、ここでは、最初に Panama_canal を選択する。

【図1 インターネット・文書画面】



利用できる文章や画像を取り込む。取り込む前に新聞の文書作成のためにワープロソフトを起動して、インターネットの画面とワープロソフト画面を左右に並べて表示する（図1）。

文章の取り込みは、必要な文章の文頭にカーソル（矢印）を置き、マウスの左ボタンを押したまま文末まで移動させる。すると文字が反転して表示される（図1中）。

次に、右ボタンをクリック（以下、右クリックと表示）して「コピー」を選択して左ボタンをクリック（以下、左クリック）する。

次に、カーソルをワープロ文書画面に移動して(図1中),そこで右クリックし、「貼り付け」を選択して左クリックする。

画像の取り込みは、画像の上にカーソルを置いて右クリックする。「画像を名前を付けて保存する」を左クリックすると保存場所を聞いてくるので保存場所を確定して保存する。

ワープロ文書に画像を貼り付けるには、A社の場合は、画面の「挿入」(図1中)を左クリックして「絵」「画像枠作成」を選択して左クリックする。

貼り付けたい画像を保存した場所から選び、「OK」を左クリックをすると画像が貼り付く。

さらに、必要な情報を検索しながら、同様の作業を繰り返して必要な情報の蓄積を行う。

4 情報の加工・処理

今回は、「パナマ運河の概要」「返還式の様子」「閘門式運河の説明」「パナマ運河建設にかかわった日本人」「見沼通船掘」「船頭平閘門」の情報を選択して収集した。これを、A4判1枚の作品として作成するには、情報の加工・処理が必要である。作品は、情報の内容が一番重要であることは間違いないが、新聞形式である以上形態も重要である。以下、加工・処理上の最低限の手順を述べる。

報告書のレイアウトを決める。

コピーした文章に誤字脱字はないか、理解しにくい表現はないかを確認する。

内容についての疑問な点や、さらに詳細に知りたい場合は関係図書・資料等で調べる。また、特に地理的事象については、現地赶赴して調査できる場合は必ずそれを行う。

文章と図版それぞれのサイズと位置をレイアウトに応じて調整する。

タイトルの文句や位置、文字サイズ、文体の統一などを確認する。なお、誤字脱字、文体の統一などは、ワープロソフトに文書校正機能があるので、それを活用することも可能である。

以上の手順で作成した例を図2で紹介する。ただし、写真・地図がタイトルだけになっているのは、

使用許可をまだ著作者に受けていないためである。写真・地図を見たい場合は、図中に記したURLにアクセスして欲しい。

なお、「船頭平閘門」の写真は、筆者がデジタルカメラで撮影したものである。デジタルカメラで撮影した画像を文書に貼り付ける操作は、前述の「3 インターネットでの情報収集」で紹介した手順で行う。

5 インターネット情報の取扱い

インターネット情報の取扱いについては、個人で楽しむ場合(「私的使用のための複製」著作権法第30条)、または学校の授業で扱う場合(「学校その他の教育機関における複製」同上第35条)以外は、著作権上、特に次の点に留意する必要がある。

- ・ホームページ上の画像については、自由に使用しても構わない著作権フリーのものであるかどうかを確認する。
- ・基本的には、ホームページ上にある画像を使用する場合には、著作者の許諾を得る必要がある。
- ・文章をそのまま引用する場合は出典を明記する。

また、自分で撮影した写真等を公開する場合は、著作権保護のために撮影者を明示することも大切である。

6 まとめ

インターネットを利用した調査の仕方と新聞の作成について紹介したが、重要なことは、公開されている情報をそのまま鵜呑みにしないという姿勢である。その意味では、ここでのインターネットの利用は、文献調査の前段階として位置付けるのが妥当であると思われる。しかし、最新の情報、多種多様な豊富な情報、情報収集の簡便さを有するインターネットを調べ方学習に活用することは、情報化社会に生きる生徒にとって必要不可欠なものといえる。さらには、この学習を自分でホームページを作成してインターネット上で公開するといった、情報発信能力育成のための準備段階としても位置付けたい。

パナマ運河返還される

パナマ運河の管理権が 31 日、グリニッチ標準時 1 月 1 日午前 0 時（パナマ時間 31 日午後 7 時）に 1914 年の開通から 85 年ぶりに米国からパナマに完全返還された。パナマはスペインからの独立、コロンビアからの分離・独立に次ぐ「第三の独立」と位置付け、文字通りの運河国家として新たに出発する。

パナマ運河は開門式運河

「開門式運河」とは、ひとこと
 と言うと、水位差の違う海と海や川と川を通るための仕組みである。右の写真は大西洋側からの開門、GATUN 湖に接続する GATUNLOCKS。連続的に 3 段階（約 26m）の上昇（或いは下降）できる 2 列のアプローチ・ウォールが見られる。各水門間の長さ = 304.8m、幅 = 33.52m



(<http://www.awa.or.jp/home/hid-yuin/canalzone.html>)

あっと驚きパナマ運河建設に日本人が！

パナマ運河の開削工事に従事したたった一人の日本人、青山 士あおやまあきら（1878-1963 年）。青山は静岡県磐田市出身で、小学校卒業後上京。東京帝国大学工科大学（現東大工学部）で土木工学を修め、1903（明治 36）年、異国で技術を学ぶ夢を抱いて、単身渡米した。シアトル、ニューヨークなどを転々とした後、当時、米国の国家的事業だったパナマ運河の開削工事へ赴いた。ジャングルの疫病や人種差別と闘いながら、汗と泥にまみれる日々。やがてひた向きさが認められ、運河の水面差を調整する「開門」の副設計技師に抜てきされた。

(<http://www.chunichi.co.jp/>)

【パナマ運河の概要】 パナマ運河（Panama Canal）は中央アメリカ最南部のパナマ地峡を横断し、カリブ海と太平洋を結ぶ運河。全長約 80 キロで結んでいる。南北両アメリカ大陸を細長い地峡の一番狭い地点、及び一番低い鞍部地帯を切り開いて作られたものである。船舶通行航路の最小水深は約 13m、最小幅は約 92m。平均的な船舶が運河を通過する所要時間は、約 9 時間かかる。



(<http://www.awa.or.jp/home/hid-yuin/canalzone.html>)

開門式運河建設の最古は日本だった

いざわやそべいためなが
 紀伊国出身の治水家井沢弥惣兵衛為永は、関東【復元された通船堀】 大農業用水、武蔵



国の見沼用水を建設しており、その代表実績見沼通船堀は日本最古の開門式運河である。パナマ運河に先立つ

(<http://www.asahi-net.or.jp/~qt5j-tkhs/tuato.htm>) こと約 180 年の 1731（享保 16）年、徳川幕府の命により物資輸送を目的として開かれた。

『あつたよ岐阜県のすぐ近くにも』

長良川大橋を渡ってすぐ、海津町のお隣福束輪中のある立田村で見つけた船頭平開門。デ・レーケの三川分流工事により締め切られた長良川と木曾川を繋ぐために、3 年の歳月をかけて 1902（明治 33）年に完成した。



(撮影 大澤 '99.10)